

鳥取県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(動物)

「※+番号」は根拠となる資料No.を示す

No.	分類群	目名	科名	和名	学名	原産地	-△○本 定着 情報 不 明	県内分布 (5地区)	鳥取県指定 カテゴリ	特定外来 生物等 指定	カテゴリ	詳細 カテゴリ	生態系被害防止外来種リスト					生息環境 (脚注付きはその他文献による)	本県への 影響 ◎影響大 ○軽微・懸念有り △不明	定着可能性 ○定着可能 一定着不能	2007年鳥取県 影響			本県定着 の有無 ○定着済み △不明 ×未定着	備考			
													影響の種類								生態系	人の生 命・身体	農林水 産業					
													競合	交雑	捕食 摂食	人体	経済 産業											
哺乳類																												
1	哺乳類	齧歯目	リス科	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosiurus erythraecus</i>	台湾、中国南部～インドシナ・マレー半島～インド北東部	△	定着不明:東部地区	重点定着 予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	○	-	○	-	◎	主に常緑広葉樹林、市街地・造林地										
2	哺乳類	齧歯目	リス科	シマリス(チョウセンシマリス)	<i>Tamias sibiricus</i>	ロシア、中国、朝鮮半島等	△	定着不明:東部地区	重点定着 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	○	○	-	-	-	森林、公園	-	○	○			○	△			
3	哺乳類	齧歯目	ネズミ科	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	不明	○	定着済み:東部地区、西部地区	その他の 対策種		総合対策	重点対策	-	-	○	-	◎	家屋、農耕地、草地、河川敷、荒地、砂 丘地等	△	○		○		○		世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
4	哺乳類	齧歯目	ネズミ科	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	シベリア南東部、中国北部	○	定着済み:東部地区	その他の 対策種		総合対策	重点対策	-	-	◎	-	◎	都市等	△	○		○		○				
5	哺乳類	齧歯目	ネズミ科	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	インドシナ半島	○	定着済み:東部地区 定着不明:西部地区	その他の 対策種		総合対策	緊急対策	○	-	◎	-	◎	都市、農村、島嶼では森林	△	○		○		○		世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
6	哺乳類	齧歯目	ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	南米中南部	○	定着済み:県内全域	重点対策種	特定外来	総合対策	緊急対策	-	-	◎	-	◎	流れの緩やかな河川、湖、沼沢地	◎	○	○			○	○	世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
7	哺乳類	兎形目	ウサギ科	カイウサギ(アナウサギ)	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	イベリア半島、アフリカ北西部	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	-	-	◎	-	◎	草原等								隣県分布:兵庫県、岡山県、広島県、島根 県 ^{※5} 世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
8	哺乳類	食肉目	ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	ヒマラヤ、中国南部、台湾、マ レー半島、スマトラ、ボルネオ	○	定着済み:県内全域	重点対策種		総合対策	重点対策	-	-	○	-	◎	市街地～山地	-	○	○			○	×			
9	哺乳類	食肉目	イタチ科	対馬以外のチョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	対馬	○	定着済み:東部地区、八頭地区、 中部地区、西部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	○	○	-	○	都市、住宅地、農耕地、森林等	○	○	○			○		国内由来の外来種 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
10	哺乳類	食肉目	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	北米～中米	○	定着済み:県内全域	重点対策種	特定外来	総合対策	緊急対策	○	-	◎	○	-	都市部から森林、湿地、水辺	◎	○	○	○	○	○		日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
11	哺乳類	偶蹄目	シカ科	シカ属(国内産ニホンジカを除く)	<i>Cervus spp.</i>	ユーラシア、北米	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	重点対策	○	◎	◎	-	○	森林、草原、湿地等								世界の侵略的外来種ワースト100(アカシ カ) ^{※3}		
鳥類																												
12	鳥類	カモ目	カモ科	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	ユーラシア	○	定着済み:中部地区、西部地区 定着不明:東部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	○	-	○	-	-	湖沼、河川等	○	○	○			○				
13	鳥類	キジ目	ナンベイクヅラ科	コリンウヅラ	<i>Colinus virginianus</i>	アメリカ中東部～メキシコ等	-		その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	-	-	○	-	○	森林、草原、河川敷										
14	鳥類	キジ目	キジ科	インドクジャク	<i>Pavo cristatus</i>	インド、スリランカ、パキスタ ン、バングラデシュ等	-		重点定着 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	緊急対策	-	-	◎	-	◎	森林、草原、農耕地										
15	鳥類	キジ目	キジ科	コウライキジ(大陸産亜種)	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>	中国東部・朝鮮半島	△	定着不明:西部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	-	○	-	-	◎	草原								日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
16	鳥類	チドリ目	セイタカシギ科	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus mexicanus</i>	アメリカ西・南部、中米～ペ ルー南西部、ブラジル北西 部、西インド諸島等	-		その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	-	◎	-	-	-	湿地、干潟、水田										
17	鳥類	インコ目	旧世界インコ科	ワカケホンセイインコ	<i>Psittacula krameri manillensis</i>	インド中・南部、スリランカ	△	定着不明:西部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	○	-	○	-	○	都市、森林等								隣県分布:兵庫県、広島県 ^{※4}		
18	鳥類	スズメ目	ソウシチョウ科	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	中国中・西・南部、ラオス北東 部、ベトナム北部、台湾	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	丘陵地、平野の森林								隣県分布:広島県 ^{※5} ・太田川水系河川 ^{※6} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
19	鳥類	スズメ目	ソウシチョウ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	ヒマラヤ西部～ミャンマー南西部・北 東部、中国中部～南東部、インド アッサム州～ベトナム北東部	○	定着済み:県内全域	重点対策種	特定外来	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	森林(主に竹林、笹藪)	○	○	○			○		日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
爬虫類																												
20	爬虫類	カメ目	インガメ科	ミナミインガメ	<i>Mauremys mutica mutica</i>	中国、台湾、ベトナム	-		その他の 対策種		総合対策	その他	○	○	○	-	-	池沼や低湿地、小さな水路等										
21	爬虫類	カメ目	スマガメ科	アカミミガメ	<i>Trachemys scripta</i>	北米	○	定着済み:東部地区、中部地区、 西部地区、日野地区 定着不明:八頭地区	重点対策種	条件付 特定外来	総合対策	緊急対策	◎	-	○	-	○	池沼、湖、河川、湿地等	○	○	○			○		世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
22	爬虫類	カメ目	カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	北米～南米	△	定着不明:東部地区	重点定着 予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	○	-	◎	◎	-	池沼、河川等	-	○	○	○		×		隣県分布:兵庫県、岡山県、広島県 ^{※5} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		
23	爬虫類	カメ目	スッポン科	チュウゴクスッポン	<i>Pelodiscus sinensis sinensis</i>	ベトナム南部から中国大陸沿 岸部、ロシア極東地域	-		その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	○	-	◎	-	-	河川の中・下流域や池、湖沼等								日本産種との形態による識別は困難 ^{※8}		
両生類																												
24	両生類	有尾目	オオサンショウウオ科	外来のオオサンショウウオ (在来種との交雑個体も含む)	<i>Andrias davidianus</i>	中国	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	重点対策	○	◎		-	-	河川								隣県分布:岡山県、広島県 ^{※9}		
25	両生類	無尾目	ヒバ科	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i>	アフリカ中南部	-		その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	○	-	○	-	○	池沼等										
26	両生類	無尾目	アカガエル科	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana (Lithobates catesbeianus)</i>	北米	○	定着済み:東部地区、八頭地区、 中部地区、西部地区	重点対策種	特定外来	総合対策	重点対策	○	-	◎	-	-	池沼等	○	○	○			○	○	世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}		

鳥取県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(動物)

「※+番号」は根拠となる資料No.を示す

No.	分類群	目名	科名	和名	学名	原産地	県内分布 (5地区)	鳥取県指定 カテゴリ	特定外来 生物等 指定	カテゴリ	生態系被害防止外来種リスト						2007年鳥取県					備考		
											詳細 カテゴリ	影響の種類				生息環境 (脚注付きはその他文献による)	本県への 影響 ◎影響大 ○軽微・懸念有り △不明	定着可能性 ○定着可能 一定着不能	影響				本県定着 の有無 ○定着済み △不明 ×未定着	
												競合	交雑	捕食 摂食	人体				経済 産業	生態系	人の生 命・身体			農林水 産業
その他の無脊椎動物																								
58	その他の無脊椎動物	無柄目	フジツボ科	タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>	汎世界的に分布し、ハワイ原産とする説があるが不明。	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	○	内湾の岩礁、港湾						隣県分布:兵庫県 ^{※3} 、加古川水系河川、揖保川水系河川、吉井川水系河川、旭川水系河川、高梁川水系河川、斐伊川水系河川、芦田川水系河川、太田川水系河川、小瀬川水系河川 ^{※6}	
59	その他の無脊椎動物	無柄目	フジツボ科	アメリカフジツボ	<i>Amphibalanus eburneus</i>	北～中米の大西洋沿岸	—	その他の予防種		総合対策	その他	○	-	-	-	-	内湾の潮間帯、浅海の貝類に付着						隣県分布:兵庫県、岡山県、島根県、広島県 ^{※4} 、円山川水系河川、加古川水系河川、揖保川水系河川、吉井川水系河川、旭川水系河川、高梁川水系河川、斐伊川水系河川、芦田川水系河川、太田川水系河川、小瀬川水系河川 ^{※6}	
60	その他の無脊椎動物	無柄目	フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i>	北～南米の大西洋沿岸	○	定着済み:東部地区	その他の対策種		総合対策	その他	○	-	-	-	内湾の潮間帯、浅海の貝類に付着							
61	その他の無脊椎動物	端脚目	マズヨコエビ科	フロリダマズヨコエビ	<i>Oragonyx floridanus</i>	北米	○	定着済み:東部地区、中部地区	その他の対策種		総合対策	その他	○	-	-	-	河川の中流下流域、止水環境							
62	その他の無脊椎動物	エビ(十脚)目	ザリガニ科	ウチダザリガニ(タンカイザリガニを含む)	<i>Pacifastacus leniusculus</i>	北米	—	重点定着予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	-	-	◎	-	-	湖沼、河川等						日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}	
63	その他の無脊椎動物	エビ(十脚)目	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	米国南部	○	定着済み:県内全域	重点対策種	条件付特定外来	総合対策	緊急対策	-	-	◎	-	湿地、水田とその周辺等	○	○	○	○	○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}	
64	その他の無脊椎動物	エビ(十脚)目	ワタリガニ科	チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus aestuarii</i>	地中海、カナリア諸島	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	-	-	○	-	-	河口～内湾の岩礁、潟、塩性湿地。繁殖期は沖合い						隣県分布:兵庫県 ^{※11} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}	
65	その他の無脊椎動物	原始紐舌目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>	南米	○	定着済み:中部地区 定着不明:東部地区、日野地区	重点対策種	旧要注意外来生物	総合対策	重点対策	○	-	-	-	◎	水田、水路等	◎	○	○	○	○	世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}
66	その他の無脊椎動物	原始紐舌目	リンゴガイ科	ラブラタリンゴガイ	<i>Pomacea insularum</i>	南米	—	重点定着予防種		総合対策	重点対策	○	-	-	-	◎	水田、水路等						隣県分布:広島県 ^{※12}	
67	その他の無脊椎動物	新生腹足目	カリバガサ科	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>	太平洋東岸	—	その他の予防種		総合対策	その他	○	-	-	-	○	潮間帯-水深30mの海域。大型貝類(サザエ・アワビなど)の貝殻や岩に付着						隣県分布:兵庫県、岡山県、広島県 ^{※5} 、 揖保川水系河川 ^{※6}	
68	その他の無脊椎動物	新生腹足目	ミズツボ科	コモチカワツボ	<i>Potamopyrgus antipodarum</i>	ニュージーランド	△	定着不明:東部地区	その他の予防種		総合対策	その他	○	-	-	-	-	砂礫質の小河川等の淡水、汽水域						隣県分布:兵庫県 ^{※5}
69	その他の無脊椎動物	新生腹足目	オリレヨフバイ科	カラムシロ	<i>Nassarius sinarus</i>	中国沿岸	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	◎	-	◎	干潟						隣県分布:兵庫県、岡山県、広島県 ^{※5}	
70	その他の無脊椎動物	汎有肺目	モノアラガイ科	ハブタエモノアラガイ	<i>Lymnaea columella</i>	北米	○	定着済み:東部地区、中部地区 定着不明:西部地区	その他の対策種		総合対策	その他	○	-	-	-	-	池沼、水路等の止水か半止水的な環境	○	○			○	
71	その他の無脊椎動物	汎有肺目	オオクビケライ(オカチヨウジガイ)科	オオクビケライ	<i>Rumina decollata</i>	地中海沿岸地域	△	定着不明:東部地区	その他の予防種		総合対策	その他	-	-	○	-	○	市街地、農耕地						近畿、中国地方に分布 ^{※4}
72	その他の無脊椎動物	イガイ目	イガイ科	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	地中海沿岸	○	定着済み:西部地区	その他の対策種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	◎	-	-	◎	潮間帯域の岩・人工構造物に付着	△	○	○	○	○	世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}
73	その他の無脊椎動物	イガイ目	イガイ科	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>	インド洋～西太平洋の熱帯域	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	潮間帯の岩、人工構造物						隣県分布:兵庫県 ^{※5}	
74	その他の無脊椎動物	イガイ目	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	オーストラリア、ニュージーランド沿岸	○	定着済み:東部地区、中部地区	その他の対策種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	内湾、河口等の潮間帯	○	○	○	○	○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}
75	その他の無脊椎動物	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ属	<i>Limnoperna spp.</i>	東アジア～東南アジア	—	重点定着予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	-	-	-	◎	淡水域の岩の裏、水路等						隣県分布:岡山県 ^{※5} 、兵庫県 ^{※11} 日本の侵略的外来種ワースト100(カワヒバリガイ) ^{※3}	
76	その他の無脊椎動物	マルスダレガイ目	カワホトギス科	イガイダマシ	<i>Mytilopsis sallei</i>	メキシコ湾、カリブ海	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	河川の下流部等の汽水域						関東以南に分布 ^{※4}	
77	その他の無脊椎動物	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>	北米東海岸	—	その他の予防種		総合対策	その他	○	-	-	-	-	内湾の砂泥底						隣県分布:兵庫県 ^{※13}	
78	その他の無脊椎動物	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i>	朝鮮半島、中国、ベトナム	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	-	◎	-	-	○	内湾干潟の砂泥底						隣県分布:円山川水系河川 ^{※6} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}	
79	その他の無脊椎動物	マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	中国、朝鮮半島、ロシア	○	定着済み:東部地区、西部地区 定着不明:中部地区	その他の対策種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	◎	-	-	○	湖沼、水路等の淡水域						日本産種との形態による識別は困難 ^{※10}
80	その他の無脊椎動物	盤足目	タマガイ科	自然分布域外のサキグロタマツメタ	<i>Euspira fortunei</i>	東アジア。国内では三河湾、瀬戸内海、有明海	—	重点定着予防種		総合対策	重点対策	-	-	◎	-	◎	干潟や泥底の浅海						国内由来の外来種 隣県分布:広島県 ^{※13}	
81	その他の無脊椎動物	ケヤリムシ目	カンザシゴカイ科	カサネカンザシ	<i>Hydroides elegans</i>	オーストラリア原産という説があるが詳細不明。	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	○	-	-	-	◎	内湾						隣県分布:兵庫県、岡山県、広島県、島根県 ^{※5} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}	
82	その他の無脊椎動物	ケヤリムシ目	カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomatus enigmaticus</i>	インド洋～オセアニア	—	その他の予防種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	河口、港湾等	○	○	○	○	○	△	隣県分布:岡山県、広島県、島根県 ^{※5}
83	その他の無脊椎動物	ヨウセンチュウ目	アフレンクス科	マツノザイセンチュウ	<i>Bursaphelenchus xylophilus</i>	北米	○	定着済み:県内全域	その他の対策種		総合対策	その他	-	-	◎	-	◎	アカマツ、クロマツ、リュウキュウマツなどのマツ林	◎	○	○	○	○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※3}

脚注一覧

※1:令和4年度ツヤハダゴダラカミキリによる被害や防除方法等に関する調査事業実施報告書:林野庁

※2:特定外来生物等の選定作業が必要と考えられる外来生物(昆虫類等陸生節足動物)に係る情報及び評価(案)ーハヤトゲフシアリ:環境省

※3:外来種ハンドブック:日本生態学会編

※4:最新日本の外来生物:一般財団法人自然環境研究センター編著

※5:侵入生物データベース:国立環境研究所https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/

※6:河川環境データベース:国土交通省https://www.nilim.go.jp/lab/ibg/ksnkankyo/

※7:鳥根県からセイヨウオオマルハナバチ(Bombus terrestris)の自然巣を発見(意見交換コーナー):保全生態学研究https://cir.nii.ac.jp/oid/1390001205208486528

※8:学識経験者意見聴取で鳥取大学の鶴崎名誉教授より

※9:特定外来生物の選定作業が必要と考えられる外来生物に係る情報及び評価(案)ーチュウゴクオオサンショウウオ:環境省

※10:聞き取り調査の情報提供

※11:兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来種リスト(ブラックリスト)(2010):兵庫県

※12:国内にはラブラタリンゴガイとスクミリンゴガイが生息する:国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 https://agresearcher.maff.go.jp/institute/show/10

※13:愛知県の外来種ブルーデータブックあいち2021:愛知県

※14:生態系被害防止外来種リスト:環境省:https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html